



十二月

# パストラル尼崎

師走

No.126.2022(R4)年11月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎  
尼崎市潮江1丁目10-2  
Tel.06-6493-0521  
Fax.06-6493-0301  
発行責任者：峰田 康弘

## ◆十二月の歳時記◆

### 『日本初のボーナス』



十二月は冬の賞与の季節ですが、日本で初めて賞与を支給したのは、あの三菱の創業者、岩崎弥太郎といわれています。

元々、賞与の始まりは封建時代に益暮れに支給されていた『お仕着せ』の習慣が起源といわれていますが、直接の始まりは、明治九年の三菱の賞与制度で、それから以降、大企業を中心に普及していきます。何となく髭面でガツガツ感が否めないイメージの岩崎弥太郎ですが、なぜこのような温情ある行動をしたのか？それを紐解いていくと、なるほど納得する壮絶な出来事がありました。

開国してまだ間もない明治七年、三菱は台湾出兵に全面的に協力し、政府の絶大な信頼を得ます。以降、政府の後盾で急成長した三菱は、八年には悲願であった上海航路を開設します。しかしそこに立ち上がったのが米国のパシフィック・メール社。これに対抗すべく社名を「郵便汽船三菱会社」とし、官民一体でこの競争に臨み、パシフィック社の上海航路の権益を買収することに成功、民族資本の航路を守りきったのです。

ところがそれもつかの間、今度は世界最大の海運会社、英国のピー・アンド・オー社が、上海・横浜航路のみならず大阪・東京航路にまで進出。熾烈な価格競争が勃発し、絶体絶命となった三菱は大胆なリストラと徹底的な経費削減を実施。社員は彌太郎社長自身の五〇%減給宣言にならって給与の三分の一を返上、事務員も海上の船員も一丸となって顧客確保や安全運航で徹底抗戦。必死の防戦六カ月。ついにピー・アンド・オー社は上海・日本航路からの撤退を決めます。

外国勢に圧倒的に後れを取っていた当時の日本。見慣れぬ大きな西洋人と真っ向から対峙した当時の明治の人たちの概には、尊敬する他ありません。この事から彌太郎はこのビジネス競争の勝利は社員の奮闘の賜であるとして年末に賞与を支給することにしました。明治以降の近代的公司組織において、社員の奮闘に報いようと、はじめてボーナスを支給した岩崎弥太郎。限りなく太く短い五十年の生涯でした。

## 不二家のクリスマスケーキ

海外のクリスマスケーキは、まるで日本のものとは違っています。ドイツは「シュトーレン」フランスでは「ブッシュ・ド・ノエル」イタリアでは「パネトーネ」。ではいつ頃、日本のクリスマスケーキは、今のような形になったのか？その歴史を調べてみると、あの「ペコちゃん」でお馴染みの不二家の名前が…。明治43年、創業者である藤井林右衛門が25歳の時に横浜の元町に開業した「FUJIYA」は外国船のシェフに頼み込んで教わったクリスマスケーキを販売。当時のクリスマスケーキは今のような生クリームは使用せず、ベースはドライフルーツと洋酒をたっぷり使って焼き上げたフルーツケーキ。これに砂糖の衣をかけて、アラザン(銀色の粒状の製菓)をあしらっていました。しかし新し過ぎたのが「最初はなかなか売れなかった。洋菓子を食べる習慣がなかった」と不二家の社史に残されています。しかし大正11年、2号店を開業する頃にはよく売れるようになっていたそう。下の写真は当時の復刻版ですが、結構、甘そうですね～。(甘い=当時のセレブの嗜好)だったかも？汗



## コロナ禍のアクティビティを振り返って

2020年春、日本中が得体の知れないウイルスへの不安に包まれ始めた頃、まだパストラル尼崎では灘校生の訪問に湧き、毎月開催の「シニア大学」「陽だまり」なども予定どおりに実施され、いつもの賑わいがそこにありました。しかし3月に入ると状況は一変。刻々と入ってくる激増の感染者数、特に志村けんさん、女優、岡江久美子さん死亡のニュースは世間を震撼させました。その頃からアクトの企画はその目的とは真逆の“三密回避”が必須となります。その頃の記録を見ると、何かできないかとジタバタしている企画が並んでいます。泣 外出出来ない皆様に季節感をと館内装飾に力を入れ、スイーツをワゴンでお部屋まで運び、無言参加の「館内図書館」の開催、「PA検定」や「占いの母」まで登場！笑 と中には??という企画もありましたが、手先の巧緻性を高めるフレイル予防企画、「アートに挑戦」では、皆様の“何でもやってみよう精神”に後押しされ、「燕子花絵図」「ボタンアート」「振袖」そして「鶴さくら」など次々に見事な作品が完成。訪問ドクターや見学者が「お～！」と唸っているのを何度も目にしています。また「わたしたちの白地図」では、皆様が居住した場所や旅した場所が千個を超えるマグネットで埋め尽くされ、現役時代のアグレッシブな皆様の足跡に驚嘆！夏祭りやクリスマス、文化祭も、規模や形を変え何とか途絶えさせる事なく実施。この頃から企画を盛り上げようとスタッフH、Sを中心に「チコちゃん」「くだおれ太郎」「伊達政宗」「寅之助」などが登場！その見事な出来におおいに湧きました。最近では人数制限などはあるものの「日帰り旅行」や近場からの「シニア倶楽部」も再開。第8波の不安もある中、ご入居者様、スタッフに支えられつつ日々あがっている毎日です。(F)